

FUKUI DAIZU 情報

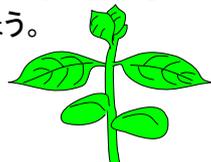
福大豆

No.3

大麦刈取り終了後すみやかに播種できた圃場もありましたが、播種ピーク時には断続的な降雨があり、播種が遅れた圃場もありました。(6月1～25日の降水量は平年比138%)。今後の生育状況を確認しながら、遅れることなく計画的に培土作業を実施し、生育促進、雑草抑制・倒伏軽減で収量アップ！を目指しましょう。

1. 大豆播種(生育)の状況

5月下旬播種の圃場で本葉2葉、6月上旬播種の圃場で初生葉～本葉1葉が展開中です。



【写真】: 坂井地区
6月5日播種
(6/23撮影)
● 葉齢: 1葉期
(平年よりやや遅い)



2. 各作業の目安

天候や圃場状況を確認しながら計画的に培土を行い十分な排水対策を行いましょう！



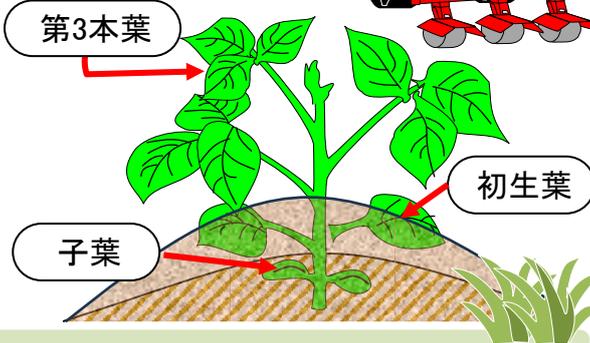
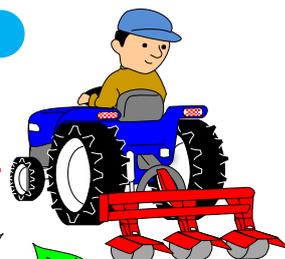
排水対策 : 梅雨明けまで

3. 培土作業

培土: 1回目 本葉2～3葉期(播種後20～25日頃)

- 中耕培土は圃場が乾いた状態で行えるよう、天候をみて計画的に行う。乾いた状況で作業することで土の飛びが良くなり培土精度が高まる。
- 1回目・・・本葉2～3葉期(6月下旬頃～)
子葉が隠れるまでしっかり株元まで寄せ、山型になるように土をかける。
- 2回目・・・本葉5～6葉期(7月下旬頃～)
初生葉が隠れる高さまで。

1回目の培土は、子葉が隠れるまでしっかりと！



4. 帰化アサガオ対策

畦畔を確認し、帰化アサガオ類が発生していたら圃場侵入前に草刈りを実施！
(7/5・6日は県下一斉の畦畔草刈り実践デー)